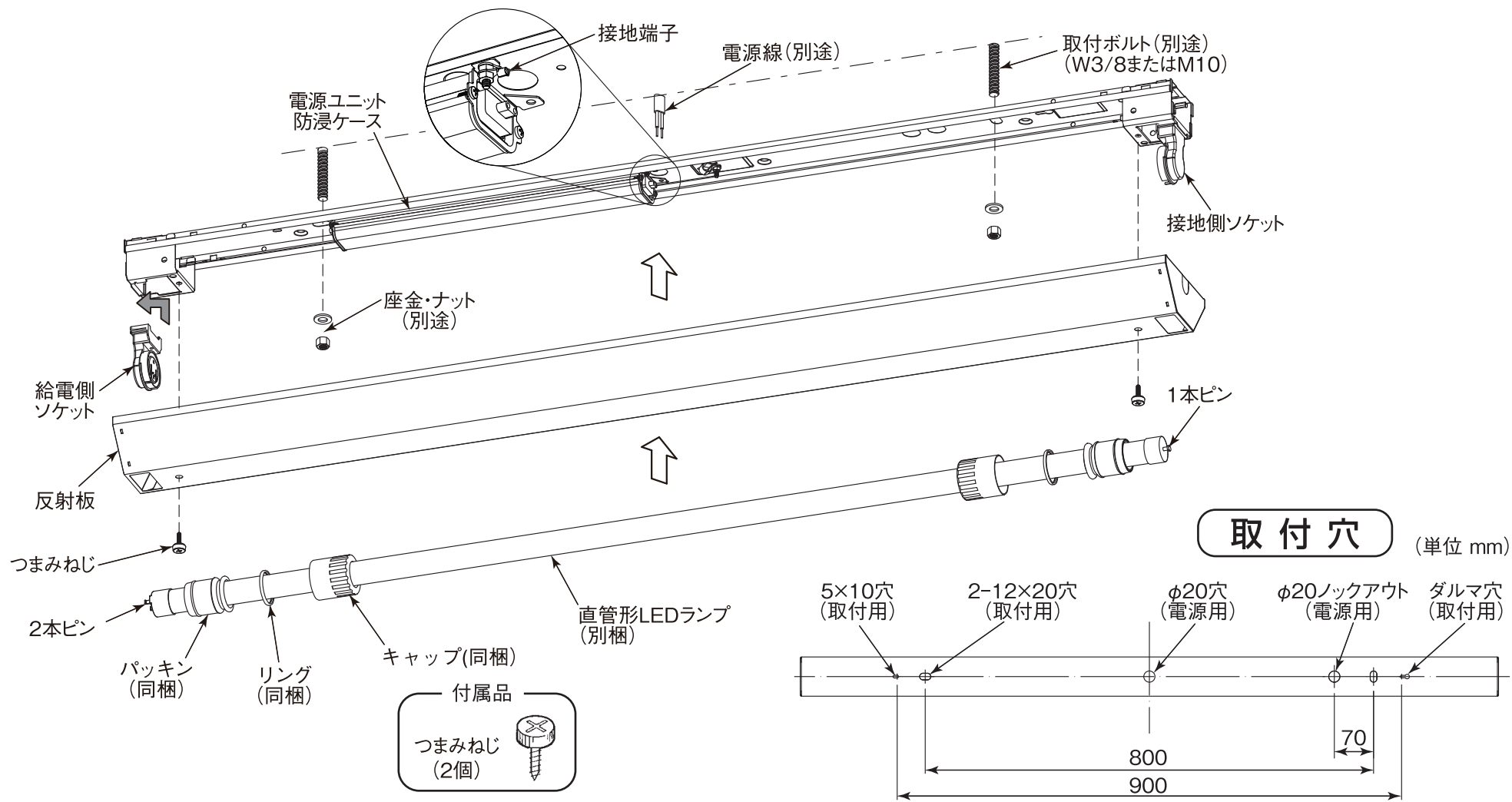


各部のなまえと取付けかた

⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



1 取付前の確認

- 器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。
 - ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8またはM10を使用する。

⚠ 警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 ソケットを取付ける

- 本体に内蔵のソケットをソケット台にくぐらせて取付ける。

3 器具本体を取付ける

- (1) 電源線・アース線を器具本体のブッシング付電源穴から引き込んでおく。
- (2) 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取付ける。

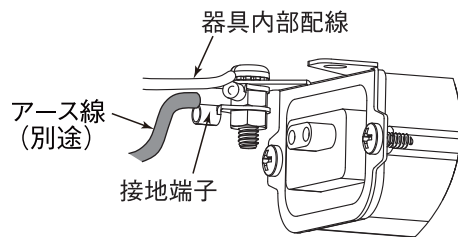
⚠ 警告

取付けが不完全な場合落下の原因

4 電源線アース線を接続する

電源線と器具口出線を確実に接続する。

- 口出線長さは、中央電源穴より器具外約0.15mです。
- 高電位側は器具側の黒線と、低電位側は白線と合わせて圧着接続子などで確実に接続する。
- 電源線の接続部は、自己融着絶縁テープなど、防水性のある絶縁被覆処理を確実に施すこと。
- アース線を接地端子に圧着する。
〈D種(第3種)接地工事が必要です。〉

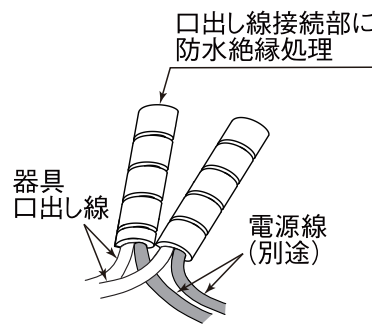


⚠ 警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

⚠ 警告

接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因



自己融着絶縁テープなどで口出し線接続部を防水絶縁処理した後に、防水のため防水絶縁処理した先端を上(天井側)に向ける。

⚠ 警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

5 反射板を取付ける

- 反射板を本体にはめ込んで確実に取付ける。

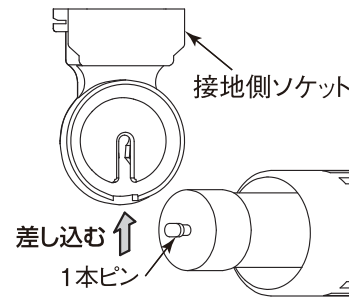
⚠ 注意

取付けが不完全な場合
落下の原因

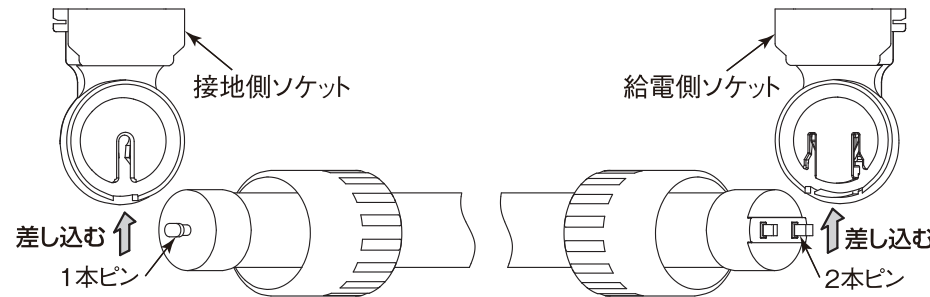
6 ランプを確実に取付ける

- (1) 器具に同梱してあるキャップ、リング、パッキンをランプの両端に順次通し、発光面(ランプの形名印刷側)を下側にして取付けます。

- (2) 接地側(ランプ1本ピン)を取付ける。

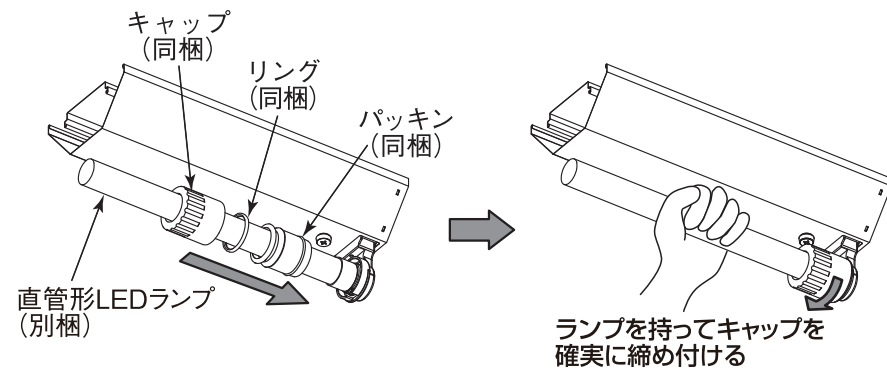


- (3) 給電側(ランプ2本ピン)を取付ける。

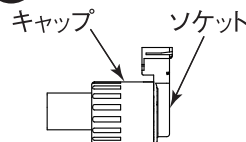


- (4) ランプピンをソケットの根本まで「カチッ」と音がするまで差し込んだ後、キャップを左右均等に締めつける。

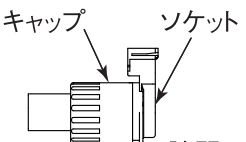
一方に片寄り過ぎますと、接触不良を起こす場合があります。
(この場合は、ランプを長手方向、左右に動かして片寄りを直す)



○



⊘



【注意】

キャップとソケットに隙間が出ないようにしっかりと締め付ける。
(隙間のある取付、斜め締付をしない)

⚠ 注意

取付けが不完全な場合、感電・落下の原因